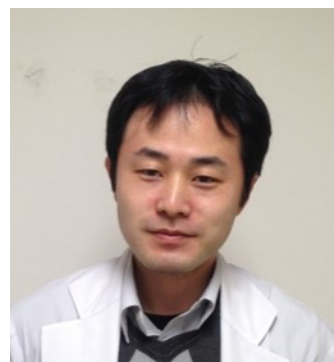


ガスクロマトグラフィ質量分析計を用いた疾患進行予知マーカーの探索

東京大学医学部附属病院検査部 蔵野 信



この度、「ガスクロマトグラフィ質量分析計を用いた疾患進行予知マーカーの探索」というタイトルで学術推進プロジェクト研究を行わせていただきました。

その結果、疾患モデルマウスの段階ですが、IgA 腎症の表現型を予測する可能性のある代謝物を多数同定することができました。今後の研究を続けることで、IgA 腎症という予後が多彩な疾患においてその表現型が完成する前に介入することができるという予防医学的な検査項目の開発につながることを期待でき、非常にうれしく思いました。

また、個人的には、本プロジェクトのおかげで、ガスクロマトグラフィ-質量分析計の操作になれたこと、統計解析（特に主成分分析）になれたことなど技術が向上したと実感しております。

現在の競争的研究資金は、若手研究者の立場からは、ある程度結果が期待される研究しか応募しにくいという現状ですが、本学術推進プロジェクトにより自由な発想で研究することができたことは今後の研究の幅を広げることができ、将来の財産となると思ひ、心より御礼申し上げます。